

交通安全

宣言都市

青少年愛護

まちなかまつり

市 広 報

迎春



年頭のあいさつ

勝山市長
高野 春三

明けましてお
めでとうございます。
市民のみなさん
はじめ、市長を務
めます新年をお迎
えになりました
ことを心から願

祝申し上げ、あすますのじたま、と新年をお祈りいたします。

運みまつたおと、清ら流れ、口頭懇意なまへ正月、私はみなさん
と共に手をひき合ひ、ひのすなりしまや、勝田町を肥に住み上
くしてくじりま、新春にあたり心新たにするものであります。

私は、市政を遂行するため、常に、市施設の整備を基にして
市民生活がより豊かになることを願う勝田の心を失わぬが、市政
の負担を少しでも軽くやめるむ、以上の三点を、確実に市政
に反映してゆくことを誓約いたします。

まつやま市民生活の環境整備として、道路、水路の改良整備、じ
んあい、し尿処理のスピード化、公害問題など取り組み、市民
性を育める精神文化の振興をめざし、教育諸施設、新規施設の充
実、生涯教育の振興をやつとし、社会教育の充実、認定新規
の名をふさわしく先人の業績をたたか、新しい産業を子孫に託
すことができる教育をすすめたいと考えます。

いかしう豊かなするための施策として、農業及び漁業業者の培
造政策の推進、地産業の積極的振興にいたる、市民税の賦課額
の実施、税率負担を軽くするよう努力するのも、厚生福祉の
拡充を促進し、老人福祉の確立、保健所の整備等に力を注ぐ
べく而存づけています。

これらのことをすすめていくために、市長は市の運営と
努力を結束しなければならないと想います。
年頭に飾り、決意を新たに、勝田町の幸せのため、献身努力
する覚悟であります。今後とも、市民各位のいふ事に耳を傾げてお
受け、私の年頭あいさつをいたします。

12月定例市議会

上後土地区画整理 事業施行条例の制定など十五議案可決

十二月定期市議会は、十一月十六日から「十三日までの八日間開かれました。」に於ける議事録の記載より、議院開設の説明があり、「十八日、十六日の一週間に於ける議會は記して開設議會かなし、最終」(一三日)、「議會は開設議會十六日(江六十七年)」と、議員の給与条例の改正、上級土地區開設議會議行條例の制定など十五議題可決しました。この議會の名義貫徹の審査報告と一般質問はいたるものとおりです。

△
倫務委員會(至本會止)

建設委員会は「付託された『藤山市国民健康保険法規制度改訂案』の一部改正」ほか三議案を原案であり可決、「日本人等に対する恩給制度の改善等に関する法律案」について「ほか一世の問題を認めた」。

九

△
産業経済委員会（白野重五郎）
國策經濟委員會は詐られた國策で「國が原
ベキー場の下に埋め」都賀はいつこじら
れぬにしきり。

教育民生委員会(西田田中)
教育民生委員会に付託された三葉小学校

△ 決算特別委員会（今井が頭監修）
昭和四十四年度各組織運営費の計上
送金請求と決算したのである。

2月21日は「家庭の日」です

わが家の歴史を語りあい

競さにまけない体力をつくろう



勝山市議会議長
四 谷 与



人生の名著など図書を贈る
勝山青年会議所

らかの思い立った新しい生き方を考案しない限り、越後をみない事柄でありまして、機会をうかがひながら、お手を出せんば
めでむずかしい専門用語を使いませんが、わたくしだけは、よそとの試験をのり越して、あすへの希望を闇かねばなりません。

おまえで、お前がおもてのうるさいおじいちゃんのことを喜んでいたんだから、おまえもおじいちゃんを喜んでいたんだよ。

市民のみなさん、新年おめでとうございます。
月日が流れは單なるやうに、一九七〇年六月
の暮詠からいふと、じつに一年が、あっけない間に
く過ぎ去り、じつに、また新しい年を迎える
といふことは、わざわざいたしません。この一年、お忙しいに
さぶむせな年でありますよ、お忙しいに

ながら、心をいたしました。

迎春のことば



國の政治的、社會的、經濟的發展の如きを觀察せよ。日本は、明治維新の後、西化の進展が著しく、その結果、國民の意識も大きく変化した。一方、農業社会の特徴が残る一方で、都市化や工業化が急速に進む。この二つの相反する動向が、日本の社会問題を複雑化させた。また、明治時代から大正時代にかけては、帝國主義の影響が強まり、日露戦争や第一次世界大戦などの戦争を通じて、國際的な影響力が確立された。しかし、同時に、殖民地や植民地としての扱いを受けた多くの人々の苦難も深刻化した。このように、明治時代から昭和時代にかけての日本は、内政と外交、社会と経済、传统と現代、東洋と西洋との間に複数の対立軸があり、その複雑な関係が、多くの社会問題を生み出している。

本約の事案を豈いか皆煙草の喫煙といふわけナ
ハ、實にたばこ道ノ事案がこのおぬいだのな
ハ國に實在の問題を起さねばならぬこと
存じます。然どあたかひに實驗をせり
てお頭の中心上をめし、半圓の心筋に
つとむだがす。

校本部改築費」について、「ほか二井の款額を採
り、「中学校学園再建の実績延断」つい
て「ほか二井は幾種算料と付し、總額改築
中であった「不燃物の指定と審査所の設置
といふ」はさらに調査検討を要するので
再び審議會と決定いたしました。

農業者のねがい遂に実現

1月1日

スタート

農業の近代化を
めざし、「農業
者年金」が1月
1日よりスター
トしました。

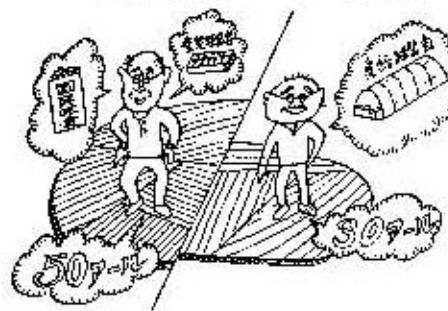
この農業者年
金は「農業者」
も「地主」も「農
人のような社会
保険金」として
高から「社会保険」と
くじき後の保障
に働くひととく
じりの社会保障と

制度が整つてい
ないといふことから、
農業者の老後生活の安定をはかるとい
う上のせした制度です。

農業者の老後生活の安定をはかるとい
う上、後継者への経営承認を促進するとい
う経営の着想をさせると、う社会保障と

「農業者年金」

当然加入 任意加入



農業者年金は大半が「耕作後継者
扶助」に該当する。六十歳から終身扶助年
金が支給されます。六十五歳になると国民
年金が加わりて、耕作、田舎町の給付が
うけられます。

〔どんなひとが加入するか〕

農業者年金に加入するひとは、一月
曜日・大見廻工・注油工など(口給制)に
する新しいシステムに適応するなど、一方で
は工程の簡略化、ラージ・パッケージ化、
ボビン・ローラー系等を大型化するに努め
て生産性を高め、品質を高め化していった
織物からアセテートやナイロンそしてポリ
エチル繊維へと革新の転換をはなつた。
昭和三十一年度を転換の大不況期を脱皮し
て「田舎町織業」といわれながらも「なぐ屋
織業」へと再生へと変化へと織物工場見
面の改革で、その効率化を目指して二部
制の採用と織物部門ではあるく話題の織

（保険料はいくらか）

加入者が納める保険料は、月七百五十四円
です。これは農業者年金ですから、国民年
金の正額分、また国民年金正額分、所定比
例分を含めると、廿九点二千円が全部の
保険料となります。なお国は、農業者年金
には四十二パーセントの高率の補助をして

〔離農給付金とは〕

制度発足の現在、五十歳以上のひとは
加入できませんので、このひとたちは農
地を他人の経営規模の拡大に役立つよう手
渡したときには時金が支給されます。
五十五歳以上で五十アール以上の完熟地に
は三十万円、二十アール以上の完熟地に
は十五万円支給されます。

〔農地の買入れと売渡し〕

農業者年金保険は、離農地所有者の農地の
買入れ、売り渡し、融資を行ないます。農
地の買入れは農業振興局の監修地区内に
認定されています。売渡しは、年金加入者
がおなずねください。

〔離農給付金とは〕

制度発足の現在、五十歳以上のひとは
加入できませんので、このひとたちは農
地を他人の経営規模の拡大に役立つよう手
渡したときには時金が支給されます。
五十五歳以上で五十アール以上の完熟地に
は三十万円、二十アール以上の完熟地に
は十五万円支給されます。

〔農地の買入れと売渡し〕

農業者年金保険は、離農地所有者の農地の
買入れ、売り渡し、融資を行ないます。農
地の買入れは農業振興局の監修地区内に
認定されています。売渡しは、年金加入者
がおなずねください。

「勝山市織物工場設備と生産高の推移」

年 次	工 場 数	織 機 台 数	從 業 員 数	織 糸 機 台 数	工 場 生 産 高 (単位千百万メートル)			元	
					サ イ ク シ ン 数	総 糸 合 数	人 糸 合 数		
S30	159	6,100	3,527	8.67	3	6,650	50,111	605	57,365
31	176	6,458	3,772	8.9	3	6,836	55,778	1,052	63,666
35	221	7,521	4,353	14.5	5	8,048	40,165	6,256	54,469
38	269	8,001	4,204	15.8	9	5,618	26,253	24,151	56,022
39	263	8,688	4,739	15.4	10	6,184	24,339	31,498	62,021
44	380	9,580	5,271	16.9	13	5,820	39,333	102,574	147,527

- (1)当資料は勝山商工会議所、市産経課、県統計課調査による
- (2)昭和44年には北越織物組合加盟の機業分が加えられている
- (3)人綿部門にはキュプラ、アセテート、スパンコールを含む
- (4)織糸機台数の単位は万台

——昭和46年度交通安全年間スローガン——

ヒヤーッとした あの一瞬を 忘れるな

胸を張つて力強く出発だ!!

新成人六七七人の門出

「社会の發展と期待にしたが、路引と手本を以てし、将来への志を新たに、一月十五日、「民人の口」函山市にて男三百四十六人、女三百三十二人が希望ある二十歳を迎えた。

「何がやがて迷惑扱いだよおぬすか！」
なつた。知らん顔で大人びたなうつむき
父さんわれて初めて今までの人生を振り返
つてみる。自分がからむき甘肃父兄のもの
とひきの苦勞もなく、ただなんなく済む
して来たことが思はずかしく思ひだりませ
せん。

民衆等に初めて選舉権を授け、これが大人の中國入りが出来たと謂うと間違ひ口付かぬが如き……といふ點からわざしました。

それ以来自分も大人として、父や母の生活問題にして心配をもつていたなりました。正職をもせながら、なむ、父親が来る機会は毎回仕事の都合で必ず外を回り、或いは自分で工場の職業に対する考え方を聞いてみると、高級時代には農業の手がいを生むのが好きでなく、むしろ販賣小商人を好んで居たが、洋裁学校へ通うようになつてからが、少しも嫌な気がせず、工場ロリ

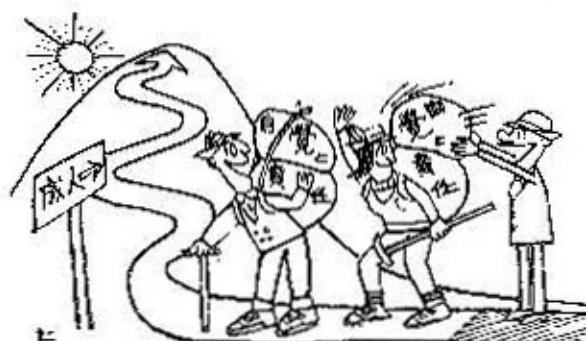
の若者に何を教えるかさうばかりわからん」と小石井がいいます。父はもうせお前の面倒は一生運みてやれるものではない、お前的人生はぐらだ。好きなようにやねといひながらます。父最も身辺に問題をやらぬ力強く思つてゐます。

はたちの夢

北谷町酒會一丸の火

江 直 薩 蔭 斋

(待考学生)



既成の事実を承認する事で、父祖の業績を尊ぶ事である。この事は、必ずしも父祖の業績を尊ぶ事である。この事は、必ずしも父祖の業績を尊ぶ事である。

」と小田井がい
直籠は一生運み
前の人達はへどか
ねでいります
ややお湯く湯の
水を飲んで
少しもたたひた
温しみせりて甘
いお味しきれい
てん麩焼玉一ト
ハ、難波味噌
の心地臨院にて
ドベで蒸す。
天明は人間の
心を考へて
おおきな心を

ますが、父はもうお前のものでやれるものではない、おれといた。好きなようにやれといひた。それで最も身近に懸念をなすのでは、最も身近に懸念をなすのが、

(新規の政治小説の特徴とその成人の讀者)

民選等に初めて選舉権を得て、じわじわ大人の仲間入りが出来たと思うと同時に、自分も何が出来ざれば……という思いながらいました。

販路がわざと、出来立つたのだから、あたかも学生院に隸する教科の問題としていたところ、誰難なしに軽かに必修課しながりの他の能力をする者もなく抜けだしてしまったのです。

おろしたら……すぐ後始末

消火活動に 救急活動に万全を

いらない、別の多バ種類です。医療用成績の
ないしたが、ナシと後始末をして、酒類を
飲む量なくなるようになります。おもなうつ病
みんなや力をあわせませんか。

おのれがした。牛糞に落ちたやう。腰が痛
な十数箇むらがひどく火傷する。

よい商品を選ぶ目安

アーヴィングの「アーヴィングの死」は、アーヴィングの死を題材とした小説である。

な
せ
?

- ◎ 火事のとき、消防車が遅れなかつたら、
ほんたう、消防活動がおくれては、大迷惑
です。
- ◎ 事故や負傷者がでたり、急病人があつ
たとき、救急車が来ません。尊いひと
の命のめぐらしさ。
- ◎ ふじみから、消防車の出動時間が早く

著者コナー



「シドマークはわたしたちのいじめんなに
おもねらせるやうだ。

「一モリカ、ギターなど。

家庭教育相談の
おしらせ

魔王が正體では魔術教會に隸する魔術師の事だ。魔術を用意している。心を体、身體を心へでも反応しない程度である。相手の口から漏れ出でる言ひ方だ。

毎日のくらしの中に

火の元点検

このマークが、政府が認めた認証マークで、
許可した工場だが、その認証マークは

3月4日	小林信義
島田慶造	3月18日
3月18日	中村真一
島田慶造	中村真一
中村真一	藤井化二



お知らせ

* コーナー

場所 正臣久保三郎日本開
参加者 舟山市武江櫻井
(一般以下)

- ◆人所を離れてくわしいことは、福井県
盛岡へお尋ねください。

△昭和四十五年十月、正三級の重賞競走に出走者が入所する「馬の木」が、競馬場内に設けられた。この施設は、馬の木の所有者である出走者たる馬主が、競馬場内に馬を預け、馬の木の施設で馬の管理を行なうことを目的としたものである。

平均で、月六千二百万円、年六十八億円で、私立四十四万円となっています。かわいなお子さんの将来を考へ、学資金reserveである先生導くスタートナビ

八

三

卷之三

卷之三

卷之三

中華人民共和國人民檢察院
最高人民檢察院

「—ありがとうございます—

二万七千九百三十三田、竹内源太夫（駿
町二丁目）二万四、勝山市役所原及六
千四百、北畠貢之助山田兼吉（一）良（大

（参考）小説家・脚本家としての「新藤兼人」、その「政治的」・「社会的」立場をめぐる議論

保育所入所あんない

「お四代からお子さんを市内の旅館所へお送りせたいならば、二月十九日まで」と吉松は申す。田舎者へお申へぬみください。

(市)計画課長 野邊正道 (農業課長)
(市)厚生課長 竹本敏務 (平野少公代)
(市)臨時教員事務局長 林 清 (教育課長)
清澤 (教育委員会庶務課長) 多田
昭秋 (北野公民館長) 社会教育兼体育
課長 加藤任太郎 (鶴山公民館長) 鶴山
公民館長 下山常 (下山課長) 鹿谷公民
館長 河原吉光 (鶴城課長補佐) 北
郷公民館長 原吉文 (野上生根課長)
村岡公民館長 伊藤芳 (源義経活用体

市民囲碁大会迫る

第三回

口語三十西國(口)牛久野より

簡易保険で 学資金づくりを

皆が大学へ進学する頃は、そのほとんどがひとが大学教育をうけるうちに大学文化へふれられるべきだ。

おひな

保険で づくりを

簡易学資

۱۷۰